

Webページ学習プリント集「ゆめあこ」の開設について

1 過去の学力調査問題の活用にあたっての考え方

- 過去の学力調査問題は、学習指導要領が育成を目指す学力を測るために、多くの知見を集めて作成された質の高い問題であり、学校における積極的な活用が必要です。

学力調査問題を活用することにより、

- ①いま求められる学力について、児童生徒の定着状況を把握することができます。
- ②実際の授業場面に即した問題であることから、児童生徒は、望ましい学び方に触れることができます。
- ③教員は、育成を目指す学力を理解し、授業改善のアイデアを得ることができます。

- ▲ 一方で、文部科学省は、調査の趣旨・目的を損なう事例として、次の例をあげ、適切な取組の推進を求めています。

例「4月前後になると、例えば、調査実施前に授業時間を使って集中的に過去の調査問題を練習させ、本来実施すべき学習が十分にできていない。」

調査問題の活用にあたっては、日々の教育活動の目的に即した意図的・計画的な活用が必要です。

2 調査問題活用にあたっての課題

調査問題活用の必要性は理解できても、実際に活用する場合には、次のような課題があります。

- ①現在、学習している内容に関係する過去の調査問題が、どこにあるのか分からない。
- ②調査問題に取り組むとなると、少なくとも1時間を費やしてしまう。
- ③学校や個々の児童生徒に課題が見られる調査問題に取り組ませたいが、その問題をピックアップすることが難しい。
- ④対象学年（小6・中3）以外の学年で活用しようとしても、調査問題の一部しか扱わないため、印刷しても無駄が多い。
- ⑤活用しようとする大量の印刷が必要となる。

3 Webページの開設

2に示した課題を解決し、活用を進めるために、過去の調査問題を設問毎に切り取り、教科別、領域別、学年別に整理し、問題の内容を記したWebページ「学習プリント集『ゆめあこ』」を開設しました。



4 学習プリント集「ゆめあこ」の活用にあたって

検索 URL : <http://www.news.ed.jp/gimu/yumeako/index.html>

I D : yumeakogare パスワード : kokorozasi

The screenshot shows the website interface for the 'National Academic Ability and Learning Status Survey'. On the left, there is a navigation menu with '全国学力・学習状況調査' (National Academic Ability and Learning Status Survey) and '小学校 算数B' (Elementary School Math B). Below this, a table lists search results for '数と計算' (Numbers and Calculation) with columns for year, grade, subject, and PDF link. On the right, there is a '教科一覧' (List of Subjects) section with links for '小学校' (Elementary School) and '中学校' (Middle School) subjects like '国語A/B', '算数A/B', '理科', '数学A/B', and '英語'.

年次	学年	教科	PDF形式
3年	平成24年度 小学校	算数B (1) 加法、減法	(PDF: 695KB)
4年	平成27年度 小学校	算数B (4) 概数	(PDF: 270KB)
4年	平成28年度 小学校	算数B (3) 小数の乗除	(PDF: 221KB)
5年	平成26年度 小学校	算数B (4) 公倍数	(PDF: 463KB)
5年	平成28年度 小学校	算数B (2) 小数の乗除	(PDF: 386KB)
5年	平成24年度 小学校	算数B (4) 小数の乗法	(PDF: 585KB)
5年	平成26年度 小学校	算数B (5) 小数倍	(PDF: 725KB)

- 活用① 教科別、領域別、学年別に整理した上で、問題の内容を記していますので、必要な問題を簡単に見つけることができます。
- 活用② 問題をクリックするとPDF形式で表示されますので、すぐに印刷して使えます。
- 活用③ 正答例は、教科のWebページの下の部分に掲載しています。すべての問題に、実施年度及び番号を記載していますので、照合して確認してください。児童生徒が丸つけをする場合は、教師が問題用紙に正答例を書き込んだものを準備しておくのが効率的です。
- 活用④ 各問題5～10分程度で取り組める内容であることから、授業の終末に定着を図る場面や、活用を図る場面など、様々な場面において簡単に使用することができます。
- 活用⑤ 領域別に整理していますので、例えば国語の「書くこと」に課題が見られる場合は、「書くこと」に関わる問題を家庭学習やスキルタイムで継続的に取り組ませたり、長期休業中に課題に焦点化した家庭学習として取り組ませたりすることができます。
- 活用⑥ 難易度の高い問題については、繰り返して取り組ませたり、グループで協働的に取り組ませたりすることによって、児童生徒が、深く教科の特性に触れるとともに、やりとげた成就感や達成感を味わうことができます。
- 活用⑦ 電子黒板やプロジェクターで大きく提示すれば、印刷せずに使用することができます。特に、問題を解説する場合は、拡大提示することにより児童生徒の理解も深まります。
- 活用⑧ 児童生徒用のPCやタブレットPCからアクセスして問題を解くことも可能です。調査問題は、一般に公表されているものですから、IDやパスワードを児童生徒や保護者に伝えても支障ありません。どのように活用するかは、各学校で検討してください。